

The background of the slide is a blue-toned image of a globe with a grid of white lines representing latitude and longitude. Overlaid on the globe are numerous bright blue and white light trails and starburst effects, suggesting a global network or data flow.

事前検証ツールについて

IHE-J接続検証委員会

柳沢 (Konica Minolta Medical & Graphic Inc)

事前検証ツール概要

- 事前検証ツールとは

IHE-JコネクタソンのエミュレータSW

検証を行うのはHL7関連

(MESAツールではHL7の日本語拡張対応での検証ができないため)

ツールで検証するシナリオ・電文データ(マスタ類等)はコネクタソンと同一。

対象テクニカルフレームワークはSWF・PIR

対象アクタはOP・OF・IM

事前検証ツール概要

- **事前検証ツールはリリース4年目**
過去のリリースはコネクタソンの作業進捗を
上げるための提案的提供

その目的は均一な環境下での成否確認を行う事で
トラブルの要因をシステム毎に事前に特定し、
コネクタソン開催時点の調査指標とする事

今年から更に一步、踏み込みます

事前検証ツール機能概要

- **構成**

 - バリデータ

 - 電文エクスペローラ(電文ビューア)

- **設定**

 - 検証シナリオ(SWF/PIR等)・パターン(単純/CT等)を設定

 - 検証するアクタ(OP/OF/IM)を設定

 - ツールと検証システムの通信環境設定(IP/Port)

- **機能**

 - バリデータ

 - シナリオの1通信セッション毎の通信検証

 - シナリオの経過検証

 - ログ出力

 - 電文エクスペローラ

 - HL7 1 電文のビューア(構造的に表示)

 - 文法解釈

事前検証ツール機能概要

- バリデータ操作フロー

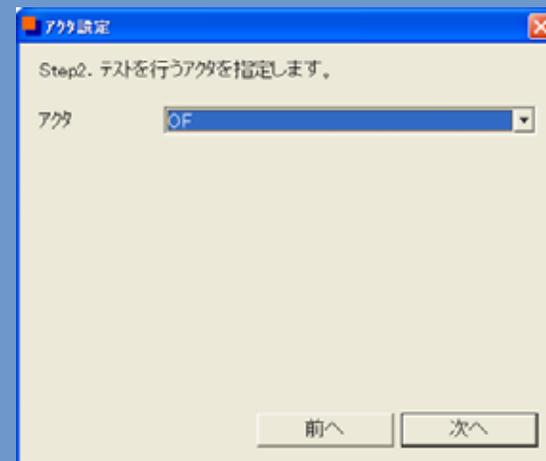
起動



シナリオ・パターン選択



テストアクタ選択



事前検証ツール機能概要

・バリデータ操作フロー(続き)

通信環境設定

テスト実施

通信設定

Step3. 通信設定を指定します。

OP OF IM その他

IPアドレス 127.0.0.1

ADT電文受信ポート 2575

OM電文受信ポート

ORU電文受信ポート

OM3電文受信ポート 2575

ツール側の電文受信タイムアウト 120 秒

前へ 次へ



HL7テストツール V1.20 [OFテスト]

状態

送信ボタンをクリックすると、ツール側はアクタ[OP]になりますし、HL7の[OM3]電文を送信します。
送信先アドレス[127.0.0.1]、ポート[2575]

No	種別	送信アクター	受信アクター	説明	状態	OK確認	アクション
1	HL7	OP	OF	[OP->OF] 放射線検査依頼(新規)	送信	-	R
2	HL7	OF	IM	[OF->IM] 放射線検査通知(新規)	-	-	R
3	HL7	OP	OF	[OP->OF] 放射線検査依頼(取消)	-	-	R
4	HL7	OP	OF	[OP->OF] 放射線検査依頼(新規)	-	-	R
5	HL7	OF	IM	[OF->IM] 放射線検査通知(取消)	-	-	R
6	HL7	OF	IM	[OF->IM] 放射線検査通知(新規)	-	-	R
7	HL7	OF	OP	[OF->OP] 患者到着確認報告	-	-	R
8	HL7	OF	OP	[OF->OP] 放射線検査実施情報	-	-	R

テストの中止 スキップ 再設定 過去ログ表示 総合チェック 閉じる

掲載画面は08年度版のため変更される可能性があります

事前検証ツール機能概要

• 電文エクスプローラ

The screenshot displays the HL7 Explorer interface. On the left, a tree view shows the message structure with segments like MSH, PID, PV1, ORC, TQ1, OBR, and OBX. The main table lists the values for these segments, including field names, data, options, and events. Below the table, a detailed description for the ORC-1 segment is provided.

値	フィールド名	データ	オプション	イベント
NW	オーダー制御	ID	R	
O20080925001000	依頼者オーダー番号	EI	R	
<値なし>	実施者オーダー番号	EI	O	
<値なし>	依頼者グループ番号	EI	O	
<値なし>	オーダー状態	ID	O	
<値なし>	応答フラグ	ID	O	
<値なし>	数量/タイミング	TQ	X	Y
<値なし>	親	EIP	C	
200809251200	トランザクション日時	TS	R	
112233中田隆	入力者	XCN	O	Y
<値なし>	検証者	XCN	O	Y
112233中田隆	依頼者	XCN	R	Y
01内科	入力場所	PL	O	
<値なし>	コールバック用電話番号	XTN	O	Y
<値なし>	オーダー有効日時	TS	O	
<値なし>	オーダー制御コードの理由	CE	O	
01内科	入力組織	CE	O	
<値なし>	入力装置	CE	O	
<値なし>	発動者	XCN	O	Y
<値なし>	受益者注意コード	CE	O	
<値なし>	オーダー施設名	XON	O	Y
<値なし>	オーダー施設住所	XAD	O	Y
<値なし>	オーダー施設電話番号	XTN	O	Y
<値なし>	オーダー実施者住所	XAD	O	Y
<値なし>	オーダー状態変更	CWE	O	
<値なし>	拡張利用用注意ト書き管理	CWF	C	

【ORC-1 オーダー制御】

定義：オーダーセグメントの機能を決定する。採りうる値は「オーダー制御コードとその意味一覧」を参照。
コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

- a) イベント要求
イベントを発動するために、'NW' (新規オーダー) とか 'CA' (オーダー要求のキャンセル) のようなコードが使用される。
- b) イベント肯定応答承認
イベント要求に返答するために、'OK' (オーダーが受け入れられた) とか 'OR' (要求されたようにオーダーが取り消された) のようなコードが使用される。
- c) イベント通知
イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、'OC' (オーダーが取り消された) とか 'OD' (オーダーが中断された) のようなコードが使用される。

ORC (共通オーダーセグメント)

掲載画面は08年度版のため変更される可能性があります

事前検証ツール適用について

- **ベンダーワークショップ 2 回目 [07/23] にて詳細説明実施**
 - シナリオ・データについて説明
 - 利用マスタ(撮影コード、患者プロフィール、資材)について説明
 - デモを実施し、使用方法説明
 - 具体的運営方法・スケジュールについて説明
- **ツールの配布はベンダーワークショップ 2 回目後を予定**
 - 7 月末までに配布開始予定
 - 配布方法はWebダウンロード
 - (URLについてベンダーワークショップ 2 回目周知)
- **ツール利用結果の報告提出を必須と定義**
 - テストMLを利用して報告メールを提出
 - 報告メールのテンプレートをベンダーワークショップ 2 回目後に提供予定

事前検証ツール適用について

- 報告内容について

接続状況の報告を必須

接続状況を表現するのは以下4種

- 検証完了[ログ添付必須]
- 検証途中[ログ添付必須]
- 接続失敗[詳細情報レポート必須]
- ツール起動失敗[詳細情報レポート必須]

- 報告から継続サポートするケースについて

接続失敗、ツール起動失敗については継続サポート

報告メールに詳細状況を記載して頂き、個別サポートに移行

具体的な運営方法詳細はベンダーワークショップ2回目で説明

- 報告 完了するケースについて

検証完了、検証途中については報告メールを以て完了

ツールが出力するログのメール添付を必須

終わり